

市議会だより



発行◆渋川市議会
編集◆渋川市議会報編集委員会

2025年〈令和7年〉
5月1日 第78号

広報と一緒にとじて保存しましょう

令和7年

3月渋川市議会定例会

表紙の写真：赤城幼稚園の入園式

■議会の構成が新しくなりました	2～3ページ
■本会議のあらまし	4ページ
■常任委員会の審査	5ページ
■新年度予算の審査	6～8ページ
■臨時会のあらまし	8ページ
■一般質問（11人の議員が市政を問う）	9～14ページ

しくなりました



副議長
板倉 正和



議長
安力川信之

議長就任あいさつ

議長として引き続きその重責を担わせていただくことになりました。

「ハラスメントを絶対に許さない議会」との決意で、昨年12月に渋川市議会ハラスメント防止条例を制定しました。また改革委員会を設置していますが、改革の流れを止めることなく成果を出してまいります。

予算常任委員会など各常任委員会のインターネット配信やDXを積極的に導入し、業務効率化に努めます。渋川市議会議員の平均年齢は県下で一番高いことから、次回の改選で若い方や女性の方々が挑戦できるような環境整備に努めます。

来年2月には、合併20年の佳節を迎えます。市政の課題は山積していますが、市民の皆さまの声をしっかりと行政に反映してまいります。引き続き渋川市発展のため全議員力を合わせ、誠心誠意努力してまいります。



議会運営委員会

委員長 田中 猛夫
副委員長 高野 佳美
委員 田村なつ江
加藤 幸子
茂木 弘伸
望月 昭治

所管事項

- ① 議会の運営に関する事項
- ② 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- ③ 議長の諮問に関する事項

議会選出の主な役職

◆ 監査委員

反町 英孝

◆ 群馬県後期高齢者医療 広域連合議会議員

安力川信之

◆ 渋川地区広域市町村圏 振興整備組合議会議員

埴田 裕之
福島 丘泰
後藤 弘一
反町 英孝
板倉 正和
田中 猛夫
山内 崇仁
角田 喜和
安力川信之



議会の構成が新

経 済 建 設 常 任 委 員 会



委員長
反町 英孝



副委員長
福島 丘泰



塩田 裕之



板倉 正和



田邊 寛治



望月 昭治

総 務 市 民 常 任 委 員 会



委員長
茂木 弘伸



副委員長
中澤 功史



田村 なつ江



山内 崇仁



安力川 信之



角田 喜和

予 算 常 任 委 員 会



委員長
田村 なつ江



副委員長
後藤 弘一

ほか議長を除く
議員 15 人

教 育 福 祉 常 任 委 員 会



委員長
後藤 弘一



副委員長
高野 佳美



高澤 幹



田中 猛夫



加藤 幸子



須田 勝

令和7年 3月定例会

あらまし

令和7年3月定例会は、2月27日から3月25日までの27日間の日程で開催されました。市長から市長専決処分の報告1件のほか人事案件24件、条例の制定・一部改正19件、令和6年度補正予算案5件、令和7年度予算案10件、令和7年度補正予算案2件が提出され、議員から議案2件が提出されました。一部を除き各常任委員会に付託、慎重に審査・審議を行いました。本会議では、令和7年度一般会計予算に対し議員から提出された修正案は否決し、多数決で原案のとおり可決、そのほかの議案はすべて全員一致で原案のとおり可決・同意しました。本会議では、市長や議員から提出された議案などを審議します。主な議案の内容と議決結果を紹介します。

令和7年度一般会計予算を可決

教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員1名の任期が令和7年5月19日に満了するため、後任に吉田雄希氏を任命するものです。全員一致で同意しました。

農業委員会委員の任命同意

農業委員会委員19名の任期が令和7年3月31日に満了するため、それぞれ後任を任命するものです。すべて全員一致で同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員2名の任期が令和7年6月30日に満了するため、野村直司氏、宇木京子氏を再任、また、令和6年12月31日に1名辞任



交代制が導入された投票立会人

選挙における投票立会人の報酬の改正

投票立会人の交代制の導入に伴い改正をするもので、全員一致で可決しました。

建築基準法関係手数料条例等の一部を改正

建築物の省エネ性能の一層の向上を図るための法改正に伴い改正をするもので、全員一致で可決しました。

令和6年度補正予算を可決

全員一致で可決しました。主な内容は次のとおりです。

物価高騰対策

- ・9割を超える一般家庭等を対象に、水道基本料金を4カ月間、半額免除
- ・県が令和7年度に実施予定の「ぐんま賃上げプロジェクト」における支援金に、市の奨励金を上乗せして支給



空調が整備されて快適になる音楽室

国の補正予算対応

- ・津久田小学校、三原田小学校の特別教室の空調機器の整備
- ・武道館の照明のLED化
- ・道路改良や橋りょう維持補修などの実施

令和7年度予算を可決

一般会計予算は4つの事業を削除する修正案が議員から提出されました。修正案は賛成少数で否決、原案を賛成多数で可決しました。7つの特別会計予算および2つの事業会計予算はすべて全員一致で原案のとおり可決しました。

令和7年度水道事業会計補正予算を可決

有馬配水池の水源からP F A S が検出されている問題について、有馬配水池から配水される地域の水道水の検査箇所を現在の10カ所から30カ所に増やすもので、全員一致で可決しました。

常任委員会の審査

各常任委員会では、本会議で最終的な採決を行う前に、議案の詳細な審査を行います。また、常任委員会協議会では市から各事業の報告・説明を受けます。

各常任委員会での主な審査内容等をお知らせします。

総務市民

審査結果 付託された10議案はすべて全会一致で可決しました。

選挙立会人の交代制導入に伴う報酬額の改正

質疑 立会人の交代制はどういうルールで行うのか。

答弁 投票開始から終了まで同一立会人が立ち会う従来の形も継続していくほか、新たに従来の1人の枠に対して交代制で2人を充てることも可能とします。各自治会への立会人の推薦依頼を考えています。

土砂等による埋め立て等の規制に関する管理の一部を県に移行

質疑 管理の一部を県で行うこととなった理由は。

答弁 静岡県熱海市で発生した土石流災害を受けて、危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制するため、都道府県の所管とする法改正がされたためです。

経済建設

審査結果 付託された4議案はすべて全会一致で可決しました。

経済建設常任委員会協議会

市から次の事項について報告、説明がありました。

JR八木原駅周辺整備事業

質疑 駅の東側に整備されるアクセス道路は、当初に計画していた道路幅が一部確保できないとのこと。標識の設置等、歩行者や地域

住民の安全対策を求める。
答弁 地域住民や駅利用者の安全に十分配慮します。

質疑 駅の東西を結ぶ自由通路に設置するエレベーターは工期内に完成できるか。

答弁 自由通路の詳細設計を実施した際に、工期内の完成を見込んでいます。

質疑 エレベーターの維持管理費は市が負担するのか。

答弁 市の費用負担で管理し、維持費は年間約30万円となります。

質疑 夜間等の防犯対策はどう考えているか。

答弁 自由通路は24時間利用可能となるため、防犯カメラを設置して対応します。



市民が安心・快適に利用できる
JR八木原駅の新駅舎へ

教育福祉

審査結果 付託された5議案はすべて全会一致で可決しました。

教育福祉常任委員会協議会

市から次の事項について報告、説明がありました。

渋川市こども計画の策定

質疑 市民意見公募をどのように計画に反映させたか。

答弁 障がい児支援・医療的ケア児支援に関する意見が多く、子ども一人一人に合った支援との早期連携、柔軟な受け入れ体制の充実、身近な地域で支援が受けられる環境整備に努めるといった内容を追加しました。

市立小中学校適正規模・適正配置基本方針の策定方針

質疑 市が目指す「あるべき学校像」をまず定める必要があるのではないかと。

答弁 「あるべき学校像」の基礎となる庁内検討は令和6年度までに行っており、令和7年度に外部委員を交えて基本方針を策定する中で学校像を定めていきます。

予算

(補正予算)

審査結果 付託された7議案はすべて全会一致で可決しました。

一般会計補正予算(第10号)

水道基本料金の減免

質疑 一般的な家庭で減免される具体的な金額は。

答弁 1戸当たり2カ月の減免額は、13ミリ口径契約者は1265円、20ミリ口径契約者は1320円です。

公共交通で行くしづかわエコ旅応援キャンペーン事業

質疑 予算額3102万円の85%、2652万円が不用品となった原因の分析は。

答弁 前後半に分けて実施しましたが、前半は特に事業の周知が不十分だったと分析し、後半の実施は周知の強化と事業者の努力により改善しました。

武道館照明のLED化

質疑 LED化する施設に武道館を選定した理由は。

答弁 LED化未実施のスポーツ施設の中で、利用者数が一番多いためです。

令和7年度予算を紹介します

未来投資・活力共創予算

主な新規事業・重点事業

孤独・孤立対策推進事業

新規 2,000万円

ひきこもり地域支援センターを設置し、相談支援、居場所の提供、当事者会や家族会の開催、関係機関のネットワークづくり等を行います。



認定こども園整備事業

新規 1億1,969万円

渋川幼稚園が令和8年度から認定こども園として、新たに3歳未満児を受け入れることから、調理室と低年齢児用のトイレを設置します。



こんにゃく生産者経営支援事業

新規 2,986万円

渋川市の特産であるこんにゃくの販売価格低迷により経営の悪化が著しいこんにゃく生産者に対して、栽培面積に応じて補助金を交付します。



移住促進地域活力創造事業

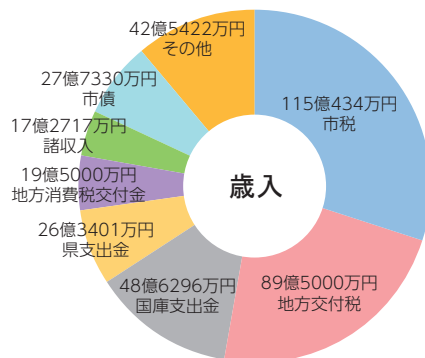
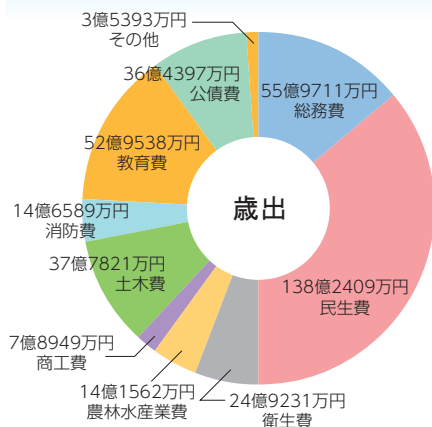
3,230万円

渋川市への移住定住に関する情報発信や助成を行うもので、今年度は市内企業就職と消防団加入の場合の加算を新たに設けました。



令和7年度予算の概要

一般会計 予算額 386 億 5,600 万円



特別会計 (198億215万円)	予 算 額
国民健康保険	
事業勘定	88億2,470万円
診療施設勘定	283万円
後期高齢者医療	14億8,330万円
介護保険	93億 123万円
農産物直売事業	293万円
伊香保温泉観光施設事業	1億6,999万円
小野上温泉事業	825万円
交流促進センター事業	892万円

公営企業会計 (84億768万円)	予 算 額
水道事業	
収益的支出	19億6,626万円
資本的支出	11億4,917万円
下水道事業等	
収益的支出	26億4,467万円
資本的支出	26億4,758万円

令和7年度予算案の審査・審議

令和7年度浜川市一般会計予算は、賛成多数で可決しました。ほか7つの特別会計予算、2つの公営企業会計予算については、いずれも全員一致で原案のとおり可決しました。

建築基準法改正への対応

質疑 法改正により、建築確認申請の審査項目、完了検査項目が増え、市の業務量も増大するが、現在の職員体制で対応は可能か。

答弁 講習や研修を受講し審査能力の向上を図ります。

しづかわ電子地域通貨

質疑 事業の評価判断は。

答弁 市内経済の循環・活性化を事業目標としており、加盟店からは、活性化に寄与しているとのアンケート結果をいただいています。

浜川市20周年記念式典

質疑 工夫を凝らしたお祝いにしてほしいが、式典の構想はできているのか。

答弁 2月の式典に向け、親善大使のほか市内で活躍する多くの方の参加や、ア

トラクションも計画中です。

県外へ通学する学生の支援

質疑 支援される通学先が東京・神奈川・千葉の大学に限定されているのはなぜか。範囲拡大の検討は。

答弁 市内からの通学のため、対象が限られます。範囲拡大は、利用者の声を聞きながら今後検討します。

防火水槽の新設

質疑 具体的な新設場所は。

答弁 浜川広域消防署西分署(伊香保地内)の隣接地と東分署(赤城地内)の敷地内の2カ所です。

自治会による広報の配布

質疑 各団体のチラシを広報と一緒に配布できないか。

答弁 市の委託として配布するため、外部団体のチラシ配布に関して定めた方針

により可否を判断します。

こどもホームアシスト事業

質疑 事業の内容は。

答弁 ヤングケアラーや、子育てが不安な家庭、妊産婦がいる家庭等に支援員が訪問し、直接支援します。



こんな場面がありませんか？
ヤングケアラーを支援します

孤独・孤立対策の推進

質疑 作成するリーフレットの内容と、周知方法は。

答弁 内容は孤独感のセルフチェックと、相談場所の案内とする予定です。さまざまな場面でも、多くの方の目に留まるよう配布します。

ドクターカー導入の検討

質疑 令和2年から毎年計上しているが、進捗は。

答弁 三次救急医療機関がないところでのドクターカーの運営は非常に難しい状況ですが、浜川市民や県北部地域の方の命を守るために必要な事業と考えています。前橋市や、吾妻・利根地域との連携など、大きな課題はありますが、一つ一つ検討を進めます。

公共交通で行くしづかわエコ旅応援キャンペーン

質疑 令和6年度の執行率や実績から、伊香保観光の需要に合っていないのでは。

答弁 令和6年度の執行率が低かったことは事実ですが、年度後半は改善しました。観光協会からも閑散期対策や経済波及効果から、継続を望まれています。

竹林整備事業

質疑 赤城・北橋地区を整



竹粉碎機の個人への貸し出しも可能です
問い合わせは環境森林課へ

備する本事業の委託先は。

答弁 面積が広く規模の大きい整備は業者委託とし、小規模の整備はシルバー人材センターに委託します。

観光施設の維持管理

質疑 伊香保の河鹿橋の修繕内容とスケジュールは。

答弁 腐食した床板の張り替えで、新緑と紅葉のシーズンを避けて実施します。

コンニャク生産者経営支援

質疑 予算の積算根拠は。

答弁 一律5万円の基準額に、面積に応じた金額を加算し、生産者全体に行き渡するように積算しました。

観光PRの推進

質疑 補助金の内容は。



赤城町勝保沢にある赤城歴史資料館

【答弁】 観光協会への補助金で、主な内容は石段のライントアップ、首都圏へのイベント出展、デジタルコンテンツの調査研究などです。

【質疑】 竹粉を肥料として活用する指導をしているか。

【答弁】 現在は行っていないが、無駄のない資源活用に向け研究していきます。

歴史資料館の再編統合

【質疑】 赤城・北橘両資料館の再編統合の方向性は。

【答弁】 基本構想の中で新築、複合施設、現有施設の存続など候補は挙げていますが、判断は保留しています。費用面から新築は難しく、引き続き検討していきます。

討論

3月定例会で行われた主な討論について概要を報告します。

討論とは、議案等を議決する前に賛成・反対の意見を述べることを行います。

「令和7年度一般会計予算」

賛成

教育、福祉、医療などの分野で市民要望を反映した施策の重要な前進が認められた。保育人材確保支援、医療的ケア児が教育・保育を受けるための環境整備支援のほか、令和6年度に開始した高齢者の補聴器購入補助は引き続き継続される。

南部地域の整備では、古巻公民館の建設や八木原駅周辺整備が始まる。

国の社会保障制度の改善による負担増から市民の暮らしを守る対策の強化や、有害鉄鋼スラグの全量撤去を強く求め、令和7年度一般会計予算に賛成する。

反対

エコ旅応援キャンペーンは伊香保観光の需要に合わず不調。伊香保は入湯税で1億5000万円もの歳入がある。当事業は廃止し、前年度以上の予算で伊香保に見合う新規事業の実施が望ましい。

12月定例会で「子持公民館周辺整備を進める」と市長は答弁したが、令和7年度予算に予算計上せず、国から約2億5000万円もの交付税算入が見込める合併特例債の活用が難しくなった。早期の対応が必要。

事業計画が甘く、約束が守られない予算案に賛成することはできない。

第1回臨時会のあらまし (令和7年1月21日開催)

市長からの発言の申出

市長による個人情報流出に関し市長が設置した調査第三者委員会が、市長の行為は個人情報保護条例に違反するとした調査報告書を提出しました。市長はこれを重く受け止め、議会および関係者を含むすべての市民に対し謝罪し、その責任として自身の給料の減額措置を講ずると発言しました。

市長の給料減額を否決

個人情報流出に関する調査第三者委員会の報告を受け、市長の給料月額を6カ月間50%減額するものです。議会は全員一致で市長の辞職を勧告しており、給料減額でなく辞職すべきとの意見があり、可否同数となり、議長裁決で否決しました。

教科書の購入

中学校教科書の改訂に伴う教師用指導教材の購入で、全員一致で可決しました。

市民会館大ホール舞台照明 更新工事請負契約の締結

本契約は令和6年12月定例会でも提案されましたが、契約手続きに疑義があるとし、否決しました。否決後、市で設計内容や契約方法を再度検証し、改めて提案され、可否同数となり、議長裁決で可決しました。

令和6年度一般会計補正予算(第8号)

物価高騰への支援として、国の経済対策に基づき、住民税非課税世帯に対して一世帯当たり3万円を、また、18歳以下の児童一人当たり2万円を加算して給付するものです。全員一致で可決しました。

第2回臨時会のあらまし (令和7年2月6日開催)

市長の給料減額を可決

第1回臨時会で否決した市長の給料減額について、50%給料減額する期間を7カ月間とするものです。賛成多数で可決しました。

一般質問

令和7年3月定例会

一般質問 ～11人の議員が 市政を問う～

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる問題について、議員が市に対して質問を行います。

※一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

高澤 幹 議員 P 9

須田 勝 議員 P 10

田邊 寛治 議員 P 11

田村なつ江 議員 P 12

茂木 弘伸 議員 P 13

角田 喜和 議員 P 14

福島 丘泰 議員 P 10

後藤 弘一 議員 P 11

加藤 幸子 議員 P 12

中澤 功史 議員 P 13

埴田 裕之 議員 P 14

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。各議員のタイトル下の二次元コードからご覧いただけます。

教育・保育・子育て支援
質問 小規模特認校制度を利用し
ての入学希望者数は。
教育部長 小規模特認校制度を活
用しての令和7年度入学希望者数
は、伊香保小学校、小野上小学校
ともに1名ずつです。
質問 放課後児童クラブ等がない
ことを理由に、伊香保・小野上地
区から転居した世帯数は。
教育部長 令和7年度入学予定者
のうち、放課後児童クラブ等がな
いことを理由に、指定校変更をし
たのは3世帯3名です。
質問 令和8年度から「幼稚園型
認定こども園」に移行する渋川幼
稚園の改修工事内容は。
育都推進部長 認定こども園とし
て、新たに3歳未満児を受け入れ
ることから、調理室と低年齢児用
のトイレを設置します。
質問 今後、すべての幼稚園を「
認定こども園」に移行するのか。
育都推進部長 ほかの公立幼稚園
の在り方は、児童数の推移や、民
間の教育・保育施設の状況を踏ま



高澤 幹

住む人すべてのしあわせを
育むまち渋川市

育むまち渋川市



え、引き続き検討していきます。

行政の思いやり

質問 自治会に未加入の市民には、
「広報しぶかわ」をどう届けるのか。

市民環境部長

自治会に未加入の
方へも、居住地域の自治会長へ連
絡することで「広報しぶかわ」の
配布は可能です。

質問 「広報しぶかわ」をコンビニ
で配布する検討は。

市民環境部長

コンビニで「広報
しぶかわ」を配布することについ
ては、現在、具体的な取り組みの
検討には至っていません。



令和8年度から完全給食の
幼稚園型認定こども園となる渋川幼稚園

※プランニングコンペ：複数の提案から最適なプランを選ぶ競争形式の入札プロセス



福島 丘泰

笑顔あふれる渋川のために



将来世代を応援する渋Pay

質問 「渋Pay」の1%を活用する地域貢献協力金の活用実績は。

教育部長 学校図書を購入や、子どもたちの意見を参考にし、各校の教育活動に必要な校用備品等を購入させていただきました。

質問 次世代を担う子どもたちの学習環境整備についての考えは。

副市長 子どもたちがより健やかに成長するためには、学校での学習環境を整えていくことがとても大切です。市としては、今後力を入れて取り組んでいきます。

渋川駅前広場のにぎわい創出

質問 渋川駅前広場の利活用として、事業者との年間契約を前提としたプランニングコンペを実施し、駅前広場の持続可能な活性化の推進を提案するが、市の考えは。

総合戦略部長 市の実証実験結果や他市の事例のほか、議員の提案も含め幅広く検討していきます。

八木原駅周辺整備

質問 JRと自由通路と駅舎の詳細設計協定を締結し、令和6年度



本市の南の玄関口として発展の期待が高まる八木原駅周辺整備事業

に設計が完了した。今後の予定は、**建設交通部長** 4月中旬にJRと施行協定を締結したいと考えています。

その後、自由通路は令和7年度から令和8年度まで、駅舎は令和9年度の工事を予定しています。
質問 人口増加につながる八木原駅を中心とした市南部地域のまちづくりの方針は。

副市長 駅周辺整備に伴う街区道路整備や県道吉岡バイパスの延伸により、さらなる交通アクセスの向上が期待されます。それらを市全体の活性化につなげていきます。



須田 勝

未来を担う

子どもたちに夢を



幼稚園にも給食を

質問 国や県もようやく学校給食無償化を進める。渋川市は他市よりもいち早く学校給食を無償化した

が、いまだ幼稚園だけが取り残されている。幼稚園にも小中学校並みの給食を無償提供できないか。

教育部長 幼稚園給食は任意であるため市内公立幼稚園では、週に数日お弁当を業者から購入し、ほかの日は家庭からお弁当を持参しています。一方、小中学校の給食費は無償で、保護者負担はありません。幼稚園への給食提供は、国などの動向を注視していきます。

ゆとり教育の現状

質問 12年前の平成25年6月議会

で、学力低下とゆとり教育を質問した。学校を取り巻く状況は、12年前と比較し、どう変化したか。
教育長 ICT教育など時代の変化とともに新たな学習内容・学習形態は変わってきています。「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」「そして「何ができるようになったのか」を子どもたちが議論し、

子どもたちが自ら考え学ぶ学習形態になってきています。

道徳教育の現状

質問 同じく12年前に道徳教育の質問をした。近年若者の詐欺犯罪等が多発する中、犯罪を起こさない、巻き込まれないような教育を。

教育長 道徳教育は「特別の教科道徳」となり、教科化されました。規則の尊重や生命の尊さ、伝統と文化の尊重などの学習内容を、子どもたちが考え議論することで、正しい判断力や正しい行動がとれる力を身につけていきます。



昔の学習風景 二宮金次郎

一般質問



後藤 弘一

農業者に支援を



コンニャクの価格低迷対策

質問 今年度の生産状況と価格は。

産業観光部長 生産量は昭和村に続き第2位となっており、価格は精粉の在庫の増加により10年間で約4割値下がりしています。

質問 今年度と来年度以降の価格低迷対策や取り組みは。

産業観光部長 今年度は認定農業者への支援金の交付や、PRイベントを実施しました。

副市長 今後はコンニャクの価格低迷への対応や、消費拡大のためのPRイベントを積極的に県や関係機関と連携し実施していきます。

質問 生産者の努力を市にも知ってほしい。どう把握しているか。

副市長 生産者の努力をしっかりと認識し諸課題の解決や施策の推進を図るとともに、機構改革により市の体制強化を図っていきます。

燃料費の高騰対策

質問 燃料消費が増大している施設園芸農家の現状は。

産業観光部長 施設園芸農家はほかの農家と比べ燃料費高騰の影響



コンニャクの収穫風景

を大きく受けやすく、経営に支障が生じており、厳しい状況です。

質問 高騰する燃料費への助成は。

産業観光部長 令和3年度に施設園芸農家へ上限10万円の補助を行い、令和5年度に価格高騰対策として、20万円を支援しました。

質問 令和7年度に向け、コンニャクの価格低迷対策と燃料費高騰対策への市長の考えを問う。

市長 コンニャクをはじめ市内農家は大変厳しい状況です。引き続き、国や県、関係機関と連携し支援を行っていきます。



田邊 寛治

高木市政2期8年の総括



各種調査委員会報告の対応

質問 硯石掘り起こし問題で設置した行政事務執行の適正化に関する調査委員会の設置経緯と結果は。

総務部長 硯石掘り起こしに関する事実を調査検証するために設置しました。再発防止に関し、職員の研修、働きかけ対応制度の整備などの提言がなされました。

質問 市長による市民の個人情報流出に関し設置された調査第三者委員会の設置目的と結果対応は。

総務部長 設置目的は市長記者会見の内容の調査と再発防止の検討です。市長の行為は個人情報保護条例第3条第2項の責務に違反した行為との判断がなされました。

質問 高木市政2期8年間で議会が3度にわたり設置した市長に関する百条委員会の市政への影響は。

市長 市政運営については、今後ともこれまでと同様、市を発展させていくという思いで、日々適切に取り組んでいきます。

適正な事務執行

質問 市長による個人情報漏えい



歴史的価値のある硯石

に対し、議会は全員一致で市長の辞職を勧告した。責任の取り方を辞職でなく給料減額とした理由は。

市長 辞職勧告を重く受け止め、自ら給料削減を行い、責任を取りました。その上で市長として市政への責任を果たしているものです。

質問 市長の発言や市政運営により、防災専門員、市議会議員、社会福祉協議会会長、多くの市職員等が辞職した。どう感じているか。

市長 退職はご本人がそれぞれの事情に応じ判断されたもので、私の発言によるものではありません。



加藤 幸子

水道水PFAS汚染の監視体制の強化を

水道水PFAS汚染の監視体制の強化を



質問 小中学校や保育園等の施設で水道水のPFAS検査をすべき。

また、自宅周辺の水道水のPFAS濃度を知ることができるよう、検査箇所の増設と公表を求む。

上下水道局長 水質のさらなるモニタリング強化として、検査箇所を小中学校や保育所等、計10カ所に増やし、毎月実施し公表していく計画としています。さらなる検査箇所の増設については、地域の要望等を聞きながら、早急に前向きに検討していきます。

質問 PFAS汚染の抜本的な対策はいつまでにどう実施するか。

上下水道局長 現在、基本計画を作成中であり、代替水源に変更する案を検討しています。全体の工事期間としては、4年から5年を想定しています。

質問 PFAS汚染から子どもたちを守るために浄水器購入の補助制度を求める。

副市長 まずは、検査回数、地点を大幅に増やし、その数値を公表して市民の不安解消を図っていきます。



子どもたちに安全な水を

ます。その上で、基準値を超えるなど浄水器設置の必要性が生じた際は、速やかに対応を行います。

市の子育て施策はトップクラス
質問 市の子育て施策は、国や県、他市と比較してもトップクラスで頑張っているが、さらなる積極的な取り組みについて見解を問う。

育都推進部長 市こども計画の理念として掲げる「こどもが幸せを感じながら成長し、地域全体で子育ての喜びを実感できるまち・渋川」の実現に向け、引き続き力を緩めず、しっかりと取り組みます。



田村なつ江

市民生活にかかわる道路・環境

道路・環境



生活道路の整備

質問 北橘町の小室上久保地区は緊急車両の出入りが難しく、西側へ移動する生活道路もない。住民は道路改良事業を待ち望んでいる。全体計画と今後の対応は。

建設交通部長 全体計画の延長は93mです。令和7年度に盛土工事に着手し、その後、側溝工事や舗装工事を実施の上、完了します。

真壁調整池のカワウの環境問題

質問 ふんや鳴き声等の生活環境被害で地域住民は疲弊している。対応の経緯や今後の取り組みは。

市民環境部長 市・県・東京電力・地元自治会の4者協議の末、周辺樹木を伐採する運びとなりました。伐採後も引き続き県と観察等を行う必要に応じ対策を講じます。

高齢者の就労支援

質問 市内のシニア世代の就労支援の取り組み状況は。

産業観光部長 渋川すこやかプラザ内の内職相談窓口での対応のほか、ハローワーク渋川の生涯現役支援窓口などにつないでいます。

情報セキュリティポリシー

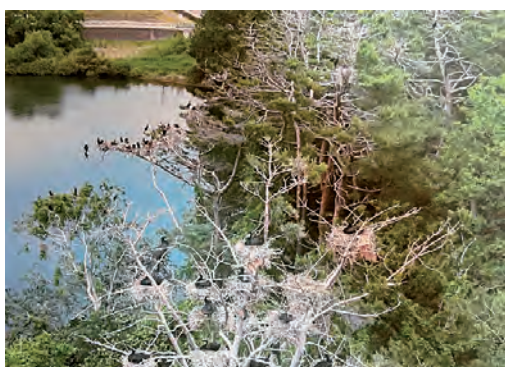
質問 個人情報情報の取り扱い、また、順守義務をどう定めているのか。

情報防災部長 情報セキュリティ対策基準と同時実施手順に基づき管理し、順守義務は情報セキュリティ基本方針に規定しています。

道路陥没事故を踏まえて

質問 八潮市の陥没事故を踏まえ、下水道管の点検や老朽化の現状は。

上下水道局長 管路が敷設されている道路の状況やマンホールの点検を実施しました。老朽管の更新についても順次対応していきます。



生活環境被害が出ているカワウのコロニー

一般質問

人口ビジョンと総合戦略

質問 若者・女性の転出超過の要因をどのように分析しているか。

総務部長 若者は進学や就職など、若年女性は県外への就職や、就職先の選択肢の多さなどから東京都圏への転出傾向があります。

質問 若者・女性が働きたい産業の誘致が転出超過対策として有効であると考えます。市の考えは。

副市長 働き方を自由に選択できる環境の整備は、転出超過解消に不可欠ととらえています。それを踏まえ産業誘致を進めていきます。

質問 男女が互いの心身の違いを理解することは、心の健康の観点から重要である。違いの理解を深めるための市の考えは。

副市長 ホルモンの変化による女性特有の身体の変化など互いの性差の違いについて理解を深める取り組みを積極的に行っています。

市の行政改革に向けて

質問 市職員の働きやすさが生産性向上に重要。カスハラ対策に名札の記載を名字のみにする等、働



中澤 功史

持続可能な渋川を創ろう



女性も若者もライフステージに合わせて自分らしく輝けるまちを目指します

きやすい環境に向けた取り組みは、**総務部長** 名札の表記を名字のみとすることのほか、公務能率向上に向け快適な服装で業務を行うことなどの検討を進めています。

質問 職員が市の計画等を理解し、組織的に自走していくことが職員の働きがいや生産性向上に重要。体制づくりについての市の考えは。

副市長 職員一人一人が置かれた立場や職責を自覚し、市民のため、市の発展のために、自発的に力を尽くしていこうとする組織をつくらせていきたいと思っています。



茂木 弘伸

道路整備における

国・県の動向



国道17号渋川西バイパス整備

質問 事業の概要と今後の計画は。

建設交通部長 旧あじさい公園入口交差点から金井IC交差点までの区間、約1・9kmを国が事業を進めており、令和7年度中の完成を見込んでいます。

質問 開通後は交通量増が予想される。周辺市道の交通安全対策は。

建設交通部長 バイパス開通後の状況や実態を確認し、地元自治会と連携しながら安全対策を講じていきます。

国道17号中村交差点の立体化

質問 事業の概要と今後の計画は。

建設交通部長 慢性的な渋滞を緩和するため、国が立体化工事を実施しています。現在、道路中央部の基礎杭打ち工事を実施しており、順次関連工事を進めていきます。

質問 事業に伴い、木村ストアー前、蔵屋前、渋川食堂前の信号機の撤去を住民は懸念しているが。

建設交通部長 道路管理者である国や県に確認したところ、既設の信号機を撤去する予定はないとの

ことでした。

県道高崎渋川線道路改良工事

質問 事業の進捗状況は。

建設交通部長 県道高崎渋川線は、県が事業主体となり実施している事業ですが、令和5年度末からは群馬県と共に用地交渉に着手し、用地買収を進めています。

質問 地元住民は信号機や横断歩道の撤去を懸念しているが。

建設交通部長 県が警察と協議した結果、横断歩道は撤去と新設する箇所があり、信号機の撤去はないと聞いています。



着々と進む渋川西バイパス工事
(入沢地区)



埴田 裕之

行政は市民生活の

安心安全のために



子持公民館の増築

質問 12月議会で当事業を進める旨の答弁があったが、令和7年度予算に計上されていない。なぜか。

総務部長 現在検討を進めている行政センターと公民館の機能統合の方向性を踏まえて対応していく必要があるためです。

質問 建設予定額は約3億8000万円だが、合併特例債の活用で国から約2億5000万円の交付税が入り、市の実質負担額は約1億3000万円となる。活用条件の令和7年度末の完成は可能か。

副市長 令和7年度を目前に、行政センターと公民館の統合を進めています。その方向性が決まり次第、順次整備を行っていきます。

質問 当事業は行政センターとの統合を理由に数年間放置された。合併特例債が活用できないと国からの多額の交付税を失うが見解は。

副市長 合併特例債の活用期限を十分考慮した上で事業実施の判断を行っており、本事業を放置していたということではありません。



行幸田・古荻地区へ給水される有馬配水池
検出されるPFASは安心安全と言えるか？

有馬地区水源のPFAS対応

質問 PFASが含まれる水道水を飲むことは「安心」と言えるか。

副市長 基準値内ですがPFASが検出されていることへの不安に対応するため、まずは検査回数、地点を大幅に増やしていきます。

質問 PFASの抜本対策として、水源への除去フィルター設置と、代替水源に県央第二水道の検討を。

副市長 提案の対応は多額の費用と時間がかかるため、市では抜本的な対応となる代替水源への切り替えを一日も早く進めていきます。



角田 喜和

高齢者補聴器購入費

補助の要件緩和拡充を



質問 高齢者補聴器購入費補助は、共産党市議団が繰り返し要望し事業が開始された。購入補助の実績と、補助の要件緩和拡充の考えは。

福祉部長 補助は3月10日現在、住民税非課税世帯補助額3万円が35件、課税世帯補助額2万円が42件で、合計77件、189万円です。所得制限がなく利用しやすい制度として周知するとともに、他市の動向にも注視します。

副食費を無償に

質問 国により幼児教育・保育料が無償化されたが、副食費は実費徴収となっている。市独自の施策で無償化する考えはあるか。

育都推進部長 市独自の子育て支援に取り組む中で、経済的な支援だけではなく、安心して子育てのできる環境づくりを進めることも重要と考えていることから、副食費支援の拡充は考えていません。

保育士不足解消に独自補助を

質問 保育士のなり手不足が深刻。人材確保対策に市独自の処遇改善策が必要と考えるが補助の考えは。



子育て支援 職員の待遇改善を

育都推進部長 深刻な保育士不足を解消するため、民間施設で働く保育士に市独自の手当を支給するとともに、新採用保育士への奨学金の返済支援や、人材派遣会社を活用した採用への補助を行います。

生活環境の整備

質問 赤城町津久田にある六万農村公園の水車の修理・改修計画は。

建設交通部長 現時点では、根本的な計画はありませんが、市全体の公園等類似施設の統廃合の中で考えていきます。なお、応急的な対応については検討します。

令和7年3月定例会の審議結果

条例の制定・・・・・・・・・・・・・・可 決

- 渋川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

条例の整理・改正・・・・・・・・・・・・・・可 決

- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 渋川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び渋川市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- 渋川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例
- 渋川市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 渋川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市一般職非常勤職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 渋川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 渋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 渋川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市土砂等による埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市小口資金融資促進条例の一部を改正する条例
- 渋川市建築基準法関係手数料条例等の一部を改正する条例
- 渋川市水道事業布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市下水道条例の一部を改正する条例
- 渋川市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

市長専決処分の報告

- 和解及び損害賠償の額を定めることについて

令和6年度補正予算・・・・・・・・・・・・・・可 決

- 渋川市一般会計補正予算(第10号)
- 渋川市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 渋川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 渋川市介護保険特別会計補正予算(第4号)
- 渋川市農産物直売事業特別会計補正予算(第1号)

令和7年度予算・・・・・・・・・・・・・・可 決

- 渋川市一般会計予算
- 渋川市国民健康保険特別会計予算
- 渋川市後期高齢者医療特別会計予算
- 渋川市介護保険特別会計予算

- 渋川市農産物直売事業特別会計予算
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計予算
- 渋川市小野上温泉事業特別会計予算
- 渋川市交流促進センター事業特別会計予算
- 渋川市水道事業会計予算
- 渋川市下水道事業等会計予算

令和7年度補正予算・・・・・・・・・・・・・・可 決

- 渋川市水道事業会計補正予算(第1号・第2号)

そ の 他・・・・・・・・・・・・・・同 意

- 渋川市教育委員会委員の任命の同意について
- 渋川市農業委員会委員の任命の同意について(19件)
- 人権擁護委員候補者の推薦について(3件)
- 渋川市監査委員の選任の同意について

そ の 他・・・・・・・・・・・・・・可 決

- 事務調査経費の決議

令和7年第1回臨時会の審議結果 (1月21日開催)

条例の改正・・・・・・・・・・・・・・可 決

- 渋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市職員の給与に関する条例及び渋川市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市一般職非常勤職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

条例の改正・・・・・・・・・・・・・・否 決

- 渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例

令和6年度補正予算・・・・・・・・・・・・・・可 決

- 渋川市一般会計補正予算(第8号)
- 渋川市介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計補正予算(第2号)
- 渋川市水道事業会計補正予算(第1号)

そ の 他・・・・・・・・・・・・・・可 決

- 財産の取得について
- 渋川市民会館大ホール舞台照明更新工事請負契約の締結について

令和7年第2回臨時会の審議結果 (2月6日開催)

条例の改正・・・・・・・・・・・・・・可 決

- 渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例

令和6年度補正予算・・・・・・・・・・・・・・可 決

- 渋川市一般会計補正予算(第9号)

市長専決処分の報告

- 和解及び損害賠償の額を定めることについて

賛否の分かれた表決結果一覧

○：賛成 ●：反対

		中澤 功史	植田 裕之	高野 佳美	高澤 幹	福島 丘泰	後藤 弘一	反町 英孝	板倉 正和	田村 なつ江	田中 猛夫	山内 崇仁	田邊 寛治	安力川 信之	加藤 幸子	茂木 弘伸	須田 勝	望月 昭治	角田 喜和	
第1回臨時会	市長提出議案第2号 (渋川市民会館大ホール舞台照明 更新工事請負契約の締結について)	○	●	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	/	○	○	●	●	欠席	可否同数により 議長裁決にて可決
	市長提出議案第3号 (渋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等 に関する条例の一部を改正する条例)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	欠席	可決
	市長提出議案第4号 (渋川市長及び副市長の給与及び 旅費支給条例の一部を改正する条例)	○	●	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	/	○	○	●	●	欠席	可否同数により 議長裁決にて否決
第2回臨時会	市長提出議案第11号 (渋川市長及び副市長の給与及び 旅費支給条例の一部を改正する条例)	○	●	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	/	○	○	●	●	○	可決
3月 定例会	市長提出議案第60号 (令和7年度渋川市一般会計予算)	原 案	○	●	○	●	○	○	○	○	●	●	●	/	○	○	●	●	○	可決
		修正案	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	○	/	●	●	○	○	●	否決

※安力川議長は表決には参加せず、可否同数の場合のみ裁決します。



写真後列右から
山内 崇仁 委員
後藤 弘一 委員
角田 喜和 委員
福島 丘泰 委員

写真前列右から
板倉 正和 委員
中澤 功史 委員長
植田 裕之 副委員長
高野 佳美 委員

議会報編集委員会委員紹介

市民の皆さんに市議会の活動を身近に感じていただけるよう、分かりやすい紙面を目指し精一杯頑張ります。よろしく願います。

令和7年6月定例会日程予定

6/10	火	本会議 (開会・議案上程)	LIVE
11	水	本会議 (議案上程)	LIVE
12	木	本会議 (一般質問)	LIVE
13	金	本会議 (一般質問)	LIVE
14	土		
15	日		
16	月	本会議 (一般質問)	LIVE
17	火	常任委員会 (総務市民・経済建設)	
18	水	常任委員会 (教育福祉)	
19	木	常任委員会 (予算)	
20	金	休会	
21	土		
22	日		
23	月	本会議 (表決・閉会)	LIVE

○ [LIVE](#) … インターネット中継あり
○ 本会議は午前10時から開会します。
○ 日程は変更されることがあります。
ホームページ等でご確認ください。

編集後記

今回の議会だよりでは、令和7年度予算を中心に、議論の内容を分かりやすくお伝えできるよう努めました。一般会計予算は多数決により可決しましたが、予算常任委員会における議論を踏まえ、市民目線で施策を実現していくことを執行部に対して求めてまいります。

3月議会から議会報編集委員会も3名の委員が入れ替わりました。新体制での編集作業を通して、市民の皆さまと市議会との距離を近くし、市政への関心を高めることの重要性を改めて感じました。市議会の活動をより分かりやすく伝え、また、市民の皆さまの声を議会だよりを生かす取り組み等をしていこうと考えています。

(編集委員長 中澤功史)



環境にやさしい植物油インキ
を使用しています。